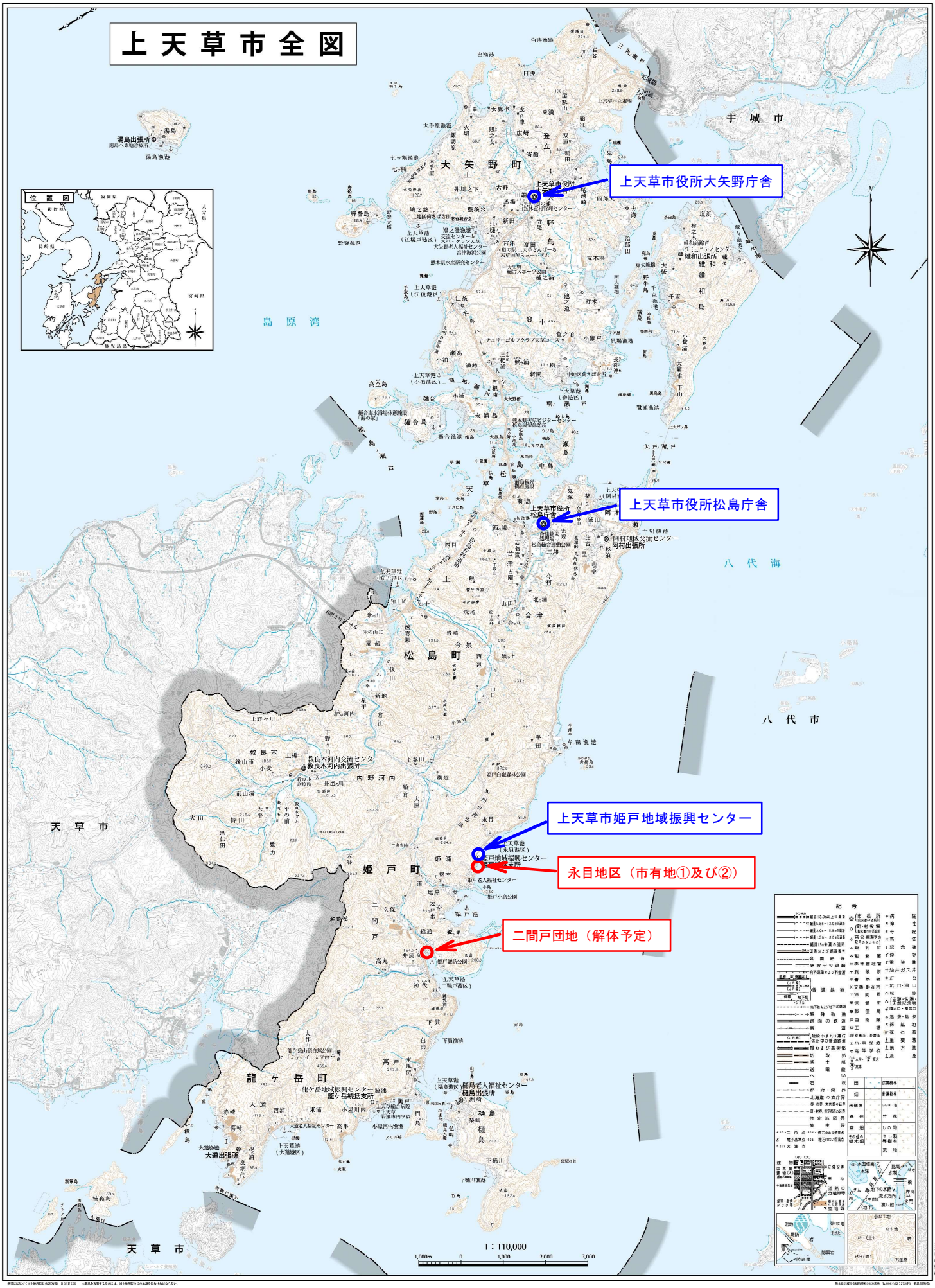
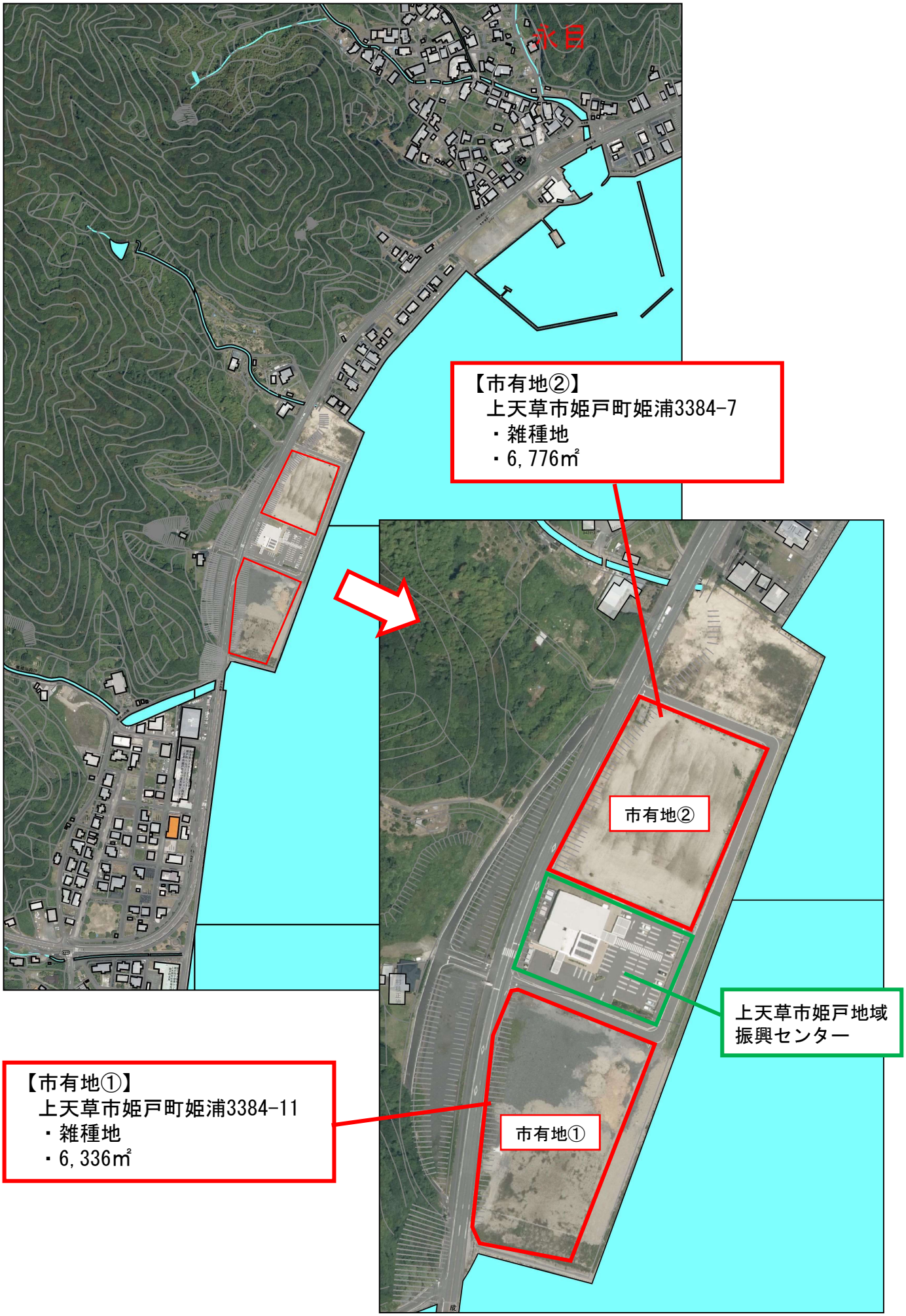
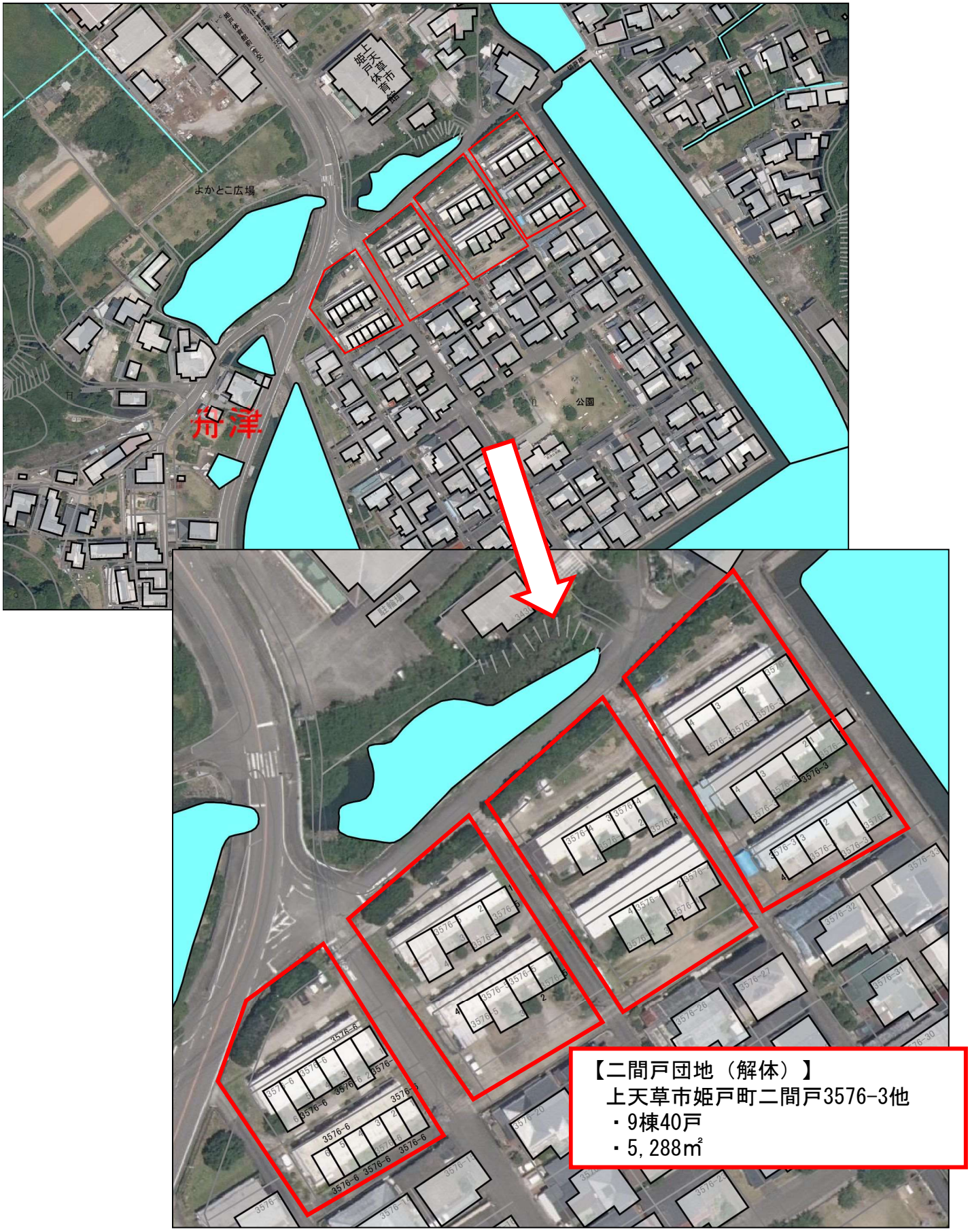
上天草市全図


上天草市役所大矢野庁舎
上天草市役所松島庁舎
上天草市姫戸地域振興センター
永目地区（市有地①及び②）
二間戸団地（解体予定）
位置図
大矢野町
松島町
姫戸町
龍ケ岳町
天草市
宇城市
八代市
八代海
島原湾
1：110,000
1,000m 0 1,000 2,000 3,000

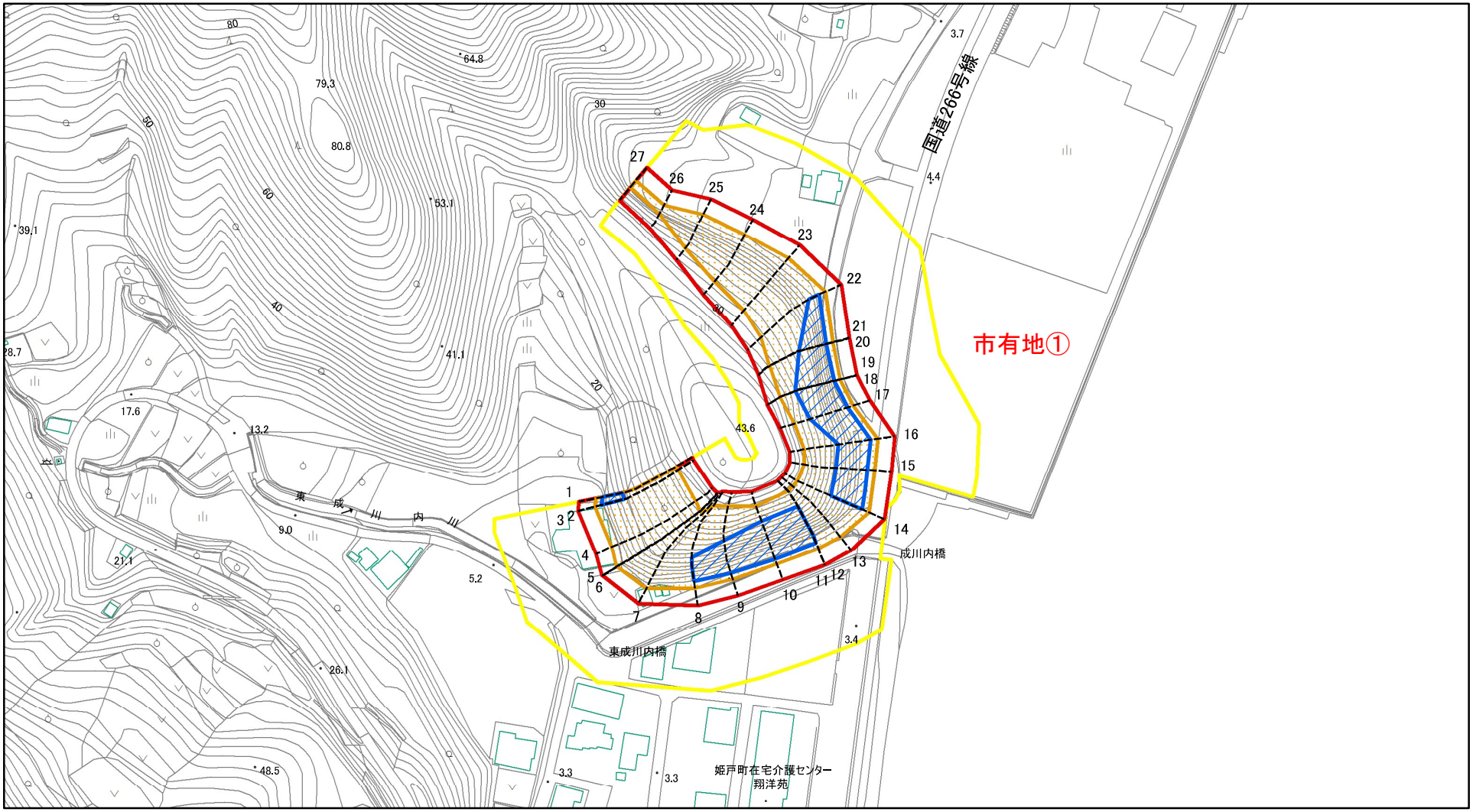
市有地①及び②の概要


永目
【市有地②】
上天草市姫戸町姫浦3384-7
・雑種地
・6,776㎡
市有地②
上天草市姫戸地域
振興センター
【市有地①】
上天草市姫戸町姫浦3384-11
・雑種地
・6,336㎡
市有地①

二間戸団地（解体）の概要


上天草市姫戸体育館
よかとこ広場
公園
荒津
【二間戸団地（解体）】
上天草市姫戸町二間戸3576-3他
・9棟40戸
・5,288㎡

土砂災害警戒区域等の指定の公示に係る図書（その２）



0 25 50 100 m

図中の数字は横断測線番号を示す

様式－２（急）

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

区域図（その１）

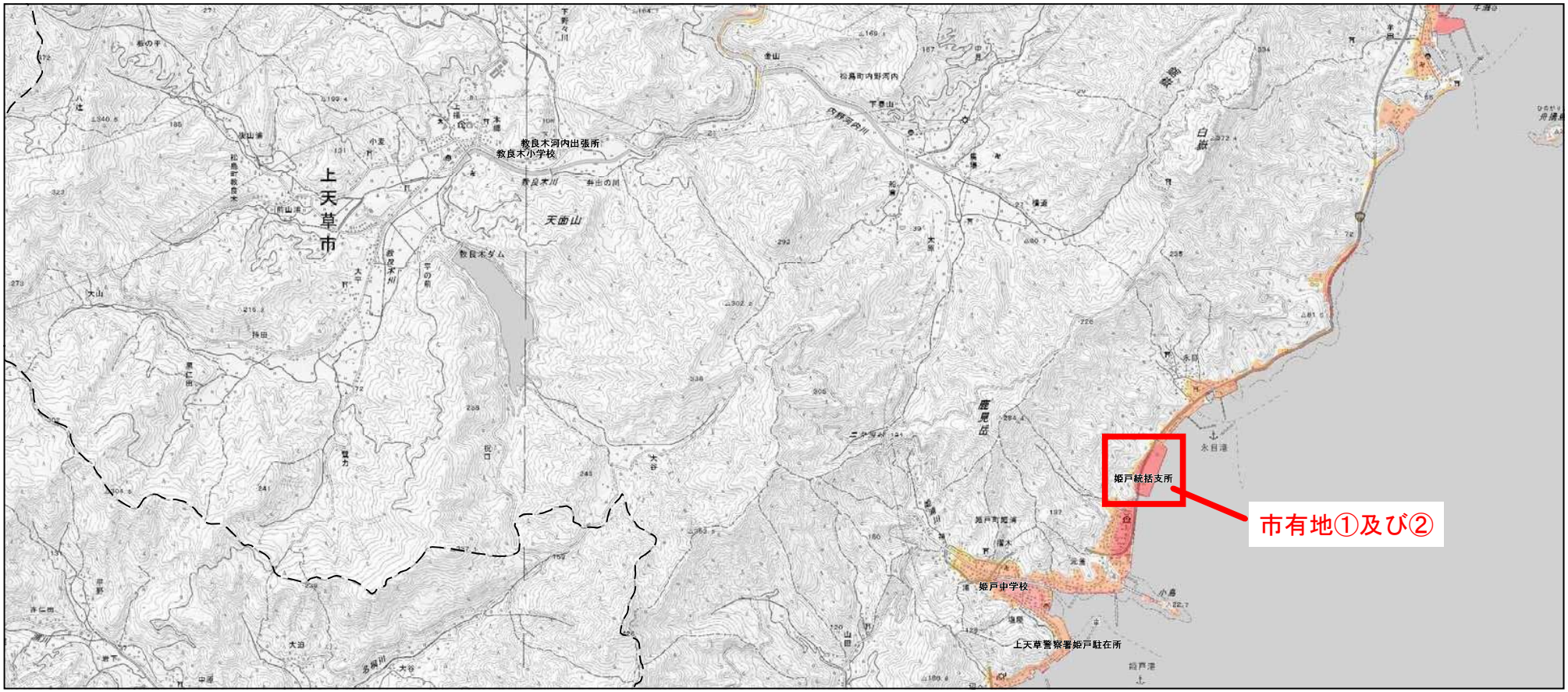
土砂災害防止法施行令第二条の基準に該当する区域（土砂災害警戒区域）			
土砂災害防止法施行令第三条の基準に該当する区域（土砂災害特別警戒区域）	土石等の（移動）高さが1m以下の場合、土石等の移動による力が100kN/m²を超える区域		
	土石等の堆積の高さが3mを超える区域		
	それ以外の区域		

N

縮尺 1:2,500

自然現象の種類	急傾斜地の崩壊	箇所番号	524-2-007
告示番号	熊本県告示第304号	箇所名	姫浦(1)
告示年月日	平成29年3月31日	所在地	上天草市姫戸町姫浦

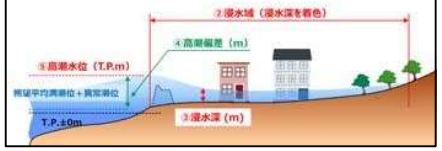
熊本県沿岸高潮浸水想定区域図　市町村別『上天草市』（34/80）



【留意事項】
○高潮浸水想定区域図は、高潮による浸水が想定される範囲、浸水した場合に想定される水深等を表示した図面です。
○高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位偏差（潮位と天文潮の差）が最大となるよう複数の経路を設定して高潮浸水シミュレーションを実施し、その結果を重ね合わせ、最大の浸水深が示されるようにしております。
○最大クラスの高潮は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風や高潮から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
○最大クラスの高潮を引き起こす台風の中心気圧としては、我が国で既往最大規模の室戸台風（昭和9年）を想定しています。なお、この規模の中心気圧を持つ台風が来襲する確率は、三大湾（東京湾、大阪湾、伊勢湾）で見ると500年から数千年に一度と想定されています。
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、前提とした各種条件を超える事象により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○地形図は、主に「平成28年度」に作成されたデータを使用しており、現在の地形と異なる場合もあります。
○地下につながっている階段、エレベーター、換気口等が、浸水区域に存在する場合、地下空間が浸水する恐れがあります。
○地盤高が朔望平均満潮位より低い地域については、堤防等が被災を受けた場合、高潮が収束した後でも、日々の干満によって、浸水が発生する可能性があります。
○確実な避難のためには、気象庁が事前に発表する台風情報（気象庁は日本列島に大きな影響を及ぼす台風が接近している時には、24時間先までの3時間刻みの予報等を発表しています。）や、市町村で今後作成されるハザードマップ等を活用してください。
○台風が来襲する前に避難を完了し、高潮警報や避難勧告が解除されるまでは、避難を継続する必要があります。
○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

【用語の解説】（図ー1参照）
①高潮　：台風等の気象じょう乱により発生する潮位の上昇現象。台風や発達した低気圧が通過するとき、潮位が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。
②浸水域　：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される範囲です。
③浸水深　：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地盤面から水面までの高さです。
④高潮偏差：天体の動きから算出した天文潮（推算潮位）と、気象等の影響を受けた実際の潮位との差（ずれ）を潮位偏差といい、その潮位偏差のうち、台風等の気象じょう乱が原因であるものを特に「高潮偏差」と言います。
⑤高潮水位：台風来襲時に想定される海水面の高さをT.P.基準で示したものを指します。

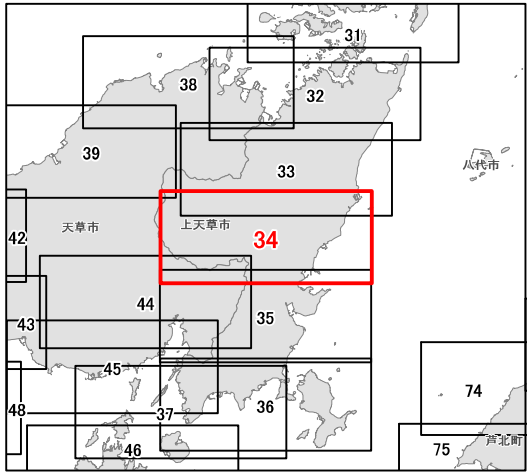
図ー1　高潮浸水想定区域図における用語の定義



凡　例
浸水深（m）

：0.3m未満	：3.0m以上　5.0m未満
：0.3m以上　0.5m未満	：5.0m以上　10.0m未満
：0.5m以上　1.0m未満	：10.0m以上　20.0m未満
：1.0m以上　3.0m未満	：20.0m以上

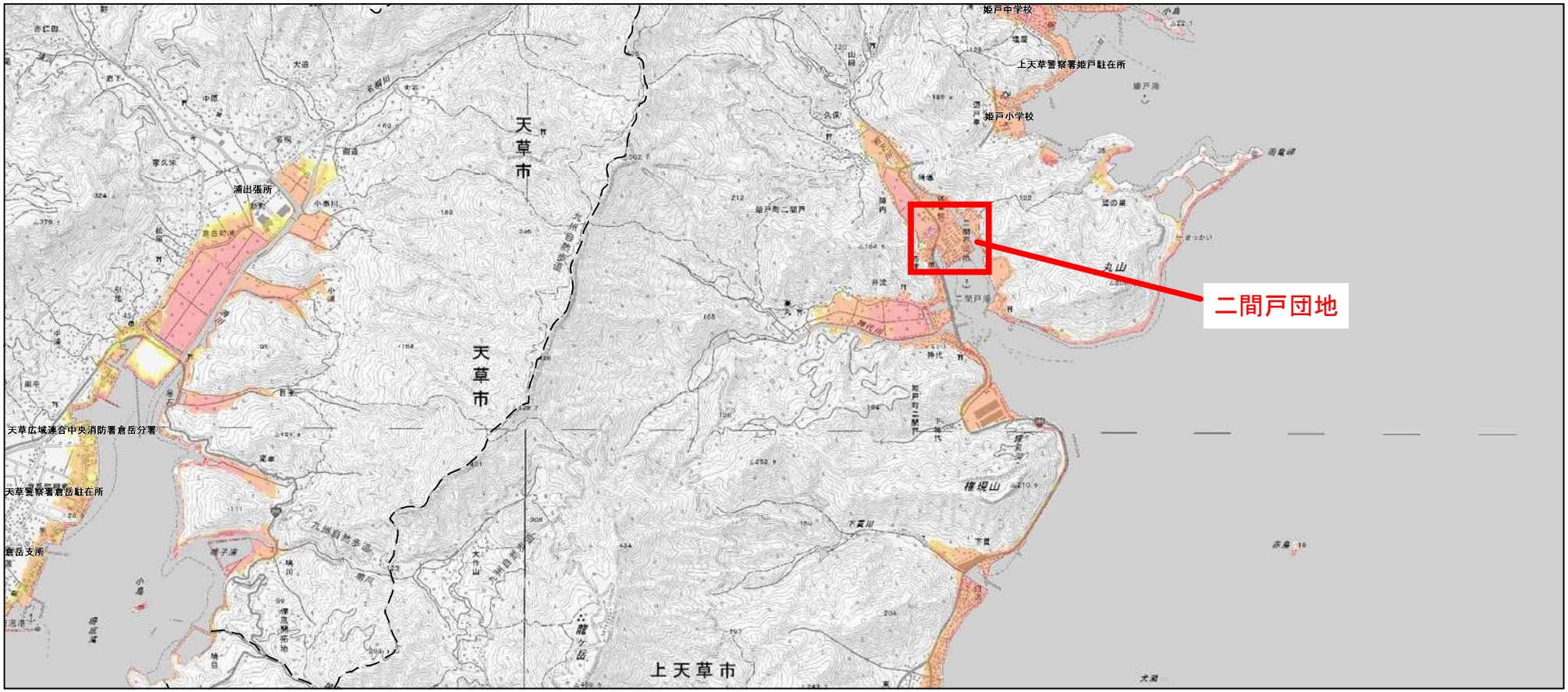
1:25,000
500　0　500　1,000 m



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2 JHs 1181」

令和3年11月作成

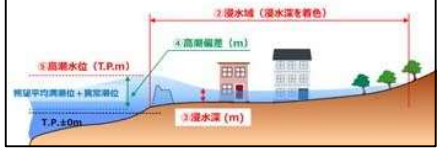
熊本県沿岸高潮浸水想定区域図　市町村別『上天草市』（35/80）



【留意事項】
○高潮浸水想定区域図は、高潮による浸水が想定される範囲、浸水した場合に想定される水深等を表示した図面です。
○高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位偏差（潮位と天文潮の差）が最大となるよう複数の経路を設定して高潮浸水シミュレーションを実施し、その結果を重ね合わせ、最大の浸水深が示されるようにしております。
○最大クラスの高潮は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風や高潮から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
○最大クラスの高潮を引き起こす台風の中心気圧としては、我が国で既往最大規模の室戸台風（昭和9年）を想定しています。なお、この規模の中心気圧を持つ台風が来襲する確率は、三大湾（東京湾、大阪湾、伊勢湾）で見ると500年から数千年に一度と想定されています。
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、前提とした各種条件を超える事象により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○地形図は、主に「平成28年度」に作成されたデータを使用しており、現在の地形と異なる場合もあります。
○地下につながっている階段、エレベーター、換気口等が、浸水区域に存在する場合、地下空間が浸水する恐れがあります。
○地盤高が朔望平均満潮位より低い地域については、堤防等が被災を受けた場合、高潮が収束した後でも、日々の干満によって、浸水が発生する可能性があります。
○確実な避難のためには、気象庁が事前に発表する台風情報（気象庁は日本列島に大きな影響を及ぼす台風が接近している時には、24時間先までの3時間刻みの予報等を発表しています。）や、市町村で今後作成されるハザードマップ等を活用してください。
○台風が来襲する前に避難を完了し、高潮警報や避難勧告が解除されるまでは、避難を継続する必要があります。
○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

【用語の解説】（図ー1参照）
①高潮　：台風等の気象じょう乱により発生する潮位の上昇現象。台風や発達した低気圧が通過するとき、潮位が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。
②浸水域　：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される範囲です。
③浸水深　：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地盤面から水面までの高さです。
④高潮偏差：天体の動きから算出した天文潮（推算潮位）と、気象等の影響を受けた実際の潮位との差（ずれ）を潮位偏差といい、その潮位偏差のうち、台風等の気象じょう乱が原因であるものを特に「高潮偏差」と言います。
⑤高潮水位：台風来襲時に想定される海水面の高さをT.P.基準で示したものを指します。

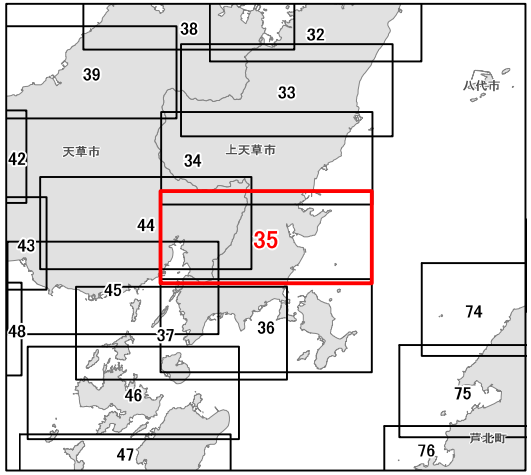
図ー1　高潮浸水想定区域図における用語の定義



凡　例
浸水深（m）

：0.3m未満	：3.0m以上　5.0m未満
：0.3m以上　0.5m未満	：5.0m以上　10.0m未満
：0.5m以上　1.0m未満	：10.0m以上　20.0m未満
：1.0m以上　3.0m未満	：20.0m以上

1:25,000
500　0　500　1,000 m



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2 JHs 1181」

令和3年11月作成

熊本県上天草市の概要

上天草市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、天草地域に浮かぶ大矢野島、上島、そのほかの島々から構成されています。

また、市のほぼ全体が雲仙天草国立公園に含まれ、日本三大松島の一つにあげられる松島の風景や龍ヶ岳・白嶽をはじめとする九州自然歩道(観海アルプス)からの眺望など景勝地として四季折々に美しい表情を見せています。

気候は、典型的な西海型気候で、年間平均気温が約17.2℃、年間降水量が1,839ミリメートル(平成30年気象庁ホームページ)、降雪は数えるほどしかなく、海岸部の一部は無霜地帯となっています。年間を通して比較的温暖な気候を有しているところから、果樹や花きの栽培が盛んに行われています。

面積は、全体で126.94平方キロメートルを有しており、東西約15キロメートル、南北約28キロメートルにわたり広がっています。内訳は、山林54.2%、田畑22.4%、宅地が5.7%(平成30年1月1日現在)となっており、大部分は急峻な山ひだが海岸線まで迫り、全体的に平坦地が少ない地勢です。その中にあって、大矢野島は比較的傾斜が緩やかな丘陵地が多く、花き栽培や酪農が行われています。

また、各地域を流れる河川の周辺には水田が広がっています。

上天草市の人口と世帯数（令和5年4月1日現在）

	世帯数	人口	年少人口 (0歳～14歳)	生産年齢人口 (15歳～64歳)	老齢人口 (65歳以上)
大矢野町	5,836	12,836	1,343	6,209	5,284
松島町	2,800	6,359	628	3,078	2,653
姫戸町	1,043	2,221	154	972	1,095
龍ヶ岳町	1,553	3,262	244	1,414	1,604
合計	11,232	24,678	2,369	11,673	10,636